

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN104
1	科目名 英語科目名	英会話初級 Basic English Conversation
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 2年前期 オクムラ フェラオドス サントス ディオゴ ラファエル
3	授業テーマ・内容	この授業では実用的な日常英会話を練習します。穴埋め文章問題はリスニング、カルチュラルヒントは海外の異文化の理解、またペアワークはスピーキングと流暢さを向上するための練習です。カルチュラルヒントのページでは、課題を与えられることがあるため、インターネットなどを利用して異文化の習慣等について調べておくこと。 各授業までに数ページ分の単語、発音、文章の意味などを予習しておくこと。授業中は出来るだけ大きな声で発話すること。また、会話力の上達は反復練習によって習得されるため、授業外での復習が非常に大切です。この授業では毎回の出席および授業態度が評価の大きなポイントになります。
4	学習成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 英語のリーディング、リスニング、ライティングおよびスピーキングの全てにおいて理解力と自信を向上することができる。 ● 実用的な英会話技能を向上することができる。 ● 日常の場面別により自然で状況にふさわしい会話ができる。
5	履修条件	☆人数制限あり(1クラス30名)
6	備考	無し
7	テキスト・参考書	テキスト:Speak Easy in Daily Conversation J. Metheny Sun Mihall Language Service
8	課題のフィードバック	無し

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	“Introductions”	Unit 1, pp. 1-2 Introductions	予) Introductions (2H) 復) Introductions (2H)
第2週	“Introductions” (cont...)	Unit 1, pp. 3-5 Getting to Know You	予) Getting to Know You / Fill in the Blanks (3H) 復) Introductions (3H)
第3週	“Story” & “Speaking Practice”	Unit 1, p. 6 My Story	予) Fill in the Blanks (2H) 復) My Story (2H)
第4週	Various Exercises	Unit 1, pp. 7-8 / Unit 3, p. 1 Role Play	予) Own Role Play / Match the Sentences (2H) 復) Own Role Play (2H)
第5週	“What Do You Do In Your Free Time?”	Unit 3, p. 2 Getting to Know You	予) Fill in the blanks / Getting to Know You (2H) 復) Getting to Know You (2H)
第6週	“What Do You Do In Your Free Time?”	Unit 3, p. 3 Adverbs of frequency	予) Fill in the Blanks (2H) 復) Adverbs of frequency (2H)
第7週	“Story” & “Speaking Practice”	Unit 3, pp. 4-5 My story	予) Fill in the Blanks (2H) 復) My story (2H)
第8週	Various Exercises	Unit 3, pp. 5-7 Hobbies	予) Match the Sentences / Hobbies (2H) 復) Hobbies (2H)
第9週	“The Good Listener”	Unit 4, pp. 1-3 Do, Does and Wh- questions	予) Do, Does and Wh- questions (2H) 復) Do, Does and Wh- questions (2H)
第10週	“Making A Phone Call”	Unit 5, pp. 1-3 Telephone conversations	予) Fill in the Blanks (2H) 復) Telephone conversations (2H)
第11週	“Making A Phone Call” (cont...)	Unit 5, pp. 4-5 Telephone conversations	予) Fill in the Blanks (2H) 復) Telephone Conversations (2H)
第12週	“Story” & “Speaking Practice”	Unit 5, pp. 5-6 My Story	予) Getting to Know You (2H) 復) My Story (2H)
第13週	Various Exercises	Unit 5, pp. 8-10 Information Exchange	予) Information Exchange (2H) 復) Information Exchange (2H)
第14週	Time Expressions	Unit 6, pp. 1-2 Time Expressions	予) Time Expressions (3H) 復) Time Expressions (3H)
第15週	Review	Unit 1-6	予) Unit 1-6 (3H) 復) Unit 1-6 (3H)
第16週	Final Exam		

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連学修成果

評価方法	%	3-1 課題発見・解決力、論理的思考 3-2 コミュニケーション・スキル 4-4 生涯学修力
期末試験 筆記試験 レポート試験	40	
授業時間内 試験・演習 授業時間外 レポート 平常点	60	

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN114
1	科目名 英語科目名	生物学 Biology
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択 2 単位) 2年後期 山本慎太郎*
3	授業テーマ・内容	今般、日常や職業上の生活の中で、生物学の知識をもとにした判断や評価を迫られる機会は日々増えつつある。この講義では、生物学という大きな学問分野の全体を可能なかぎり概観し、今後の生活・業務の中で必要となる生物学の考え方や知識とを身につけ、さらにはこれを基礎として将来にわたって生物学やその周辺にかかわる知識をアップデートしていく能力の獲得を目指す。そのために、現代生物学全体の背景をなす進化の理論を中心に、分子生物学・生態学・発生学・神経生理学などのトピックを紹介し、これを周辺諸分野との関係の中にも位置づけながら論じていく。
4	学習成果	<ul style="list-style-type: none"> ・進化の理論について遺伝子の観点から把握し、必要に応じて応用できる。 ・生物学の諸分野の考え方を把握し、日常接するそれらのトピックについて理解できる。 ・上記の知識や考え方をもとに、将来にわたり、必要に応じて生物学についての知識を適宜に更新していくことができる。
5	履修条件	なし
6	備考	各回課題等の提出は Course Power を用いる
7	テキスト・参考書	参考図書・文献は講義中で適宜紹介する。
8	課題のフィードバック	各回提出の課題について、目を引く回答を中心に授業時間内で紹介し、講評を加える。

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	生物学を概観する	生物学がなにを扱う学問かを論じる	予)シラバスをもとに既習知識を整理(2時間) 復)配布課題(2時間)
第2週	進化とはなにか・系統樹	進化学説の基礎と系統樹の考え方を論じる	予)前回資料をもとに理解を深めておく(2時間) 復)配布課題(2時間)
第3週	進化をもたらす分子	遺伝現象及び遺伝子の分子の実態を見る	予)前回資料をもとに理解を深めておく(2時間) 復)配布課題(2時間)
第4週	突然変異と浮動、淘汰	遺伝に生じる変動について説明する	予)前回資料をもとに理解を深めておく(2時間) 復)配布課題(2時間)
第5週	遺伝子に書かれた歴史1	現実に観察された生物集団の遺伝子の変化と分子進化について論じる	予)前回資料をもとに理解を深めておく(2時間) 復)配布課題(2時間)
第6週	遺伝子に書かれた歴史2	進化と適応、および眼の進化について論じる	予)前回資料をもとに理解を深めておく(2時間) 復)配布課題(2時間)
第7週	種の起源、共生、絶滅	生物の生態・系統、分類について進化の観点から論じる	予)前回資料をもとに理解を深めておく(2時間) 復)配布課題(2時間)
第8週	パンデミックと大規模データ解析、進化医学	進化学説の医療への応用や大規模データ解析の近年の進展を見ていく	予)前回資料をもとに理解を深めておく(2時間) 復)配布課題(2時間)
第9週	再生医療	細胞工学の一例として再生医療技術を紹介する	予)前回資料をもとに理解を深めておく(2時間) 復)配布課題(2時間)
第10週	生物の模様・形態と数理1	生物の模様や形態の分子的・数理的背景について論じる	予)前回資料をもとに理解を深めておく(2時間) 復)配布課題(2時間)
第11週	生物の模様・形態と数理2	生物の模様や形態の分子的・数理的背景について論じる	予)前回資料をもとに理解を深めておく(2時間) 復)配布課題(2時間)
第12週	色彩の生物学	網膜神経の色彩情報処理について論じる	予)前回資料をもとに理解を深めておく(2時間) 復)配布課題(2時間)
第13週	もののかたちの視覚情報処理	ものの形状の認知を可能とする神経回路について論じる	予)前回資料をもとに理解を深めておく(2時間) 復)配布課題(2時間)
第14週	神経回路とパーセプトロンモデル	神経の機能をもとにニューラルネットワークの考え方を理解する	予)前回資料をもとに理解を深めておく(2時間) 復)配布課題(2時間)
第15週	深層学習、ソフトロボットと物理リザー計算	ニューラルネットワークなどの理論の近年の展開について見ていく	予)前回資料をもとに理解を深めておく(2時間) 復)配布課題(2時間)

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連学修成果

評価方法	%	卒業認定に関する方針との関連学修成果
期末試験	40	1-1 数学・自然科学
筆記試験 レポート試験		3-1 課題発見・解決力、論理的思考
授業時間内 授業時間外 平常点	60	3-2 コミュニケーション・スキル
試験・演習 レポート		

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN115
1	科目名 英語科目名	心理学 Psychology
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 2年後期 竹井夏生*
3	授業テーマ・内容	人は生きる上で、心のことをおざなりにはできない。自分自身の心について洞察を深め、他者の心への感受性を深め、それらを響き合わせようとする事は、生きる上で欠くことのできないものである。この授業では、心について主に臨床心理学的な観点から学びながら、受講生それぞれがこれから送ることになる社会生活において、自らの心と他者の心を共に大切にしながら生きていくことができるための示唆となることを目指す。なお、授業は学生の関心や理解の状況をそのつど踏まえながら柔軟に進めていく。
4	学習成果	自己理解を深め、自分を大切にすることができる。 他者との関係の中で、他者の気持ちを重んじながら、また自分の気持ちも大切にできる。 社会集団の中で、自分を保ちながら、社会につながるができる。 自分、他者、社会にまつわる課題を自覚的・洞察的に理解し、それに対処できる。
5	履修条件	無し
6	備考	担当教員はカウンセラーとしての実務経験を持つ。
7	テキスト・参考書	プリントを配布する。
8	課題のフィードバック	授業内外で、全体的また個別的にフィードバックを行っていく。

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	パンデミックの心理学	パンデミックの体験について	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第2週	発達心理学(1)	「アイデンティティ」について	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第3週	発達心理学(2)	「信頼」について	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第4週	精神病理学(1)	さまざまな心の病いについて	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第5週	精神病理学(2)	前回の続き	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第6週	深層心理学(1)	無意識、夢、神話について	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第7週	深層心理学(2)	前回の続き	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第8週	深層心理学(3)	前回の続き	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第9週	いじめの心理学(1)	いじめについて	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第10週	いじめの心理学(2)	前回の続き	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第11週	いじめの心理学(3)	前回の続き	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第12週	「出会い」の心理学	人と人が出会うということについて	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第13週	「働くこと」の心理学	「働く」という営みについて	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第14週	カウンセリング心理学(1)	カウンセラーやクライアントになってみる	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第15週	カウンセリング心理学(2)	前回の続き	配布プリントや講義内容の確認(2時間/2時間)
第16週	期末試験	これまでの内容の理解を確認する	

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	卒業認定に関する方針との関連(学修成果)
期末試験	50	3-1 課題発見・解決力、論理的思考 3-2 コミュニケーション・スキル 4-1 チームワーク、自己管理力
授業時間内 試験・演習 授業時間外 レポート 平常点	50	4-2 倫理観 4-3 市民としての社会的責任 4-4 生涯学修力

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN107
1	科目名 英語科目名	日本語のはじまり Japanese,Culture and Anthropology of the World
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 2年前期 斎藤安輝
3	授業テーマ・内容	人類の発生と進化、言葉の獲得といった、人類学の初歩および、文学の発生や、漢字の伝来とその定着に始まる主に仮名成立以前の漢文による文学、「古事記」・「風土記」・「萬葉集」など平安以前の古代日本の文学と歴史の展開を、実際に毎回作品を通して具体的に学ぶ。
4	学習成果	個々の事項を知るといより、講義により得た知識から、「歴史とは何か」「文学とは何か」「人間とはどういう存在か」などということをも自発的に考えて答えを求め、演繹的思考法を身につけることが本講義の目指すところである。
5	履修条件	平安遷都以前の初歩的な日本史の知識を要す。
6	備考	無し
7	テキスト・参考書	テキスト:随時プリント配布 参考書:新日本文学史 秋山虔編 文英堂
8	課題のフィードバック	毎回 CoursePower 上で課題を提示し、提出してもらう。

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	文化と人類	人類にとって文化とは何か	予)文化の定義とは?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第2週	人類の誕生と進化①	猿人の誕生	予)霊長類とヒトの違いは?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第3週	人類の誕生と進化②	直立二足歩行	予)直立二足歩行はヒトに何をもちたか?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第4週	人類の誕生と進化③	親指の対向性	予)自分の手はどのような構造になっているか(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第5週	人類の誕生と進化④	道具の使用	予)道具とは何か(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第6週	モンゴロイドの大移動	原人の脱アフリカ	予)人種とは何か(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第7週	日本人のルーツ①	縄文人	予)縄文時代とは?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第8週	日本人のルーツ②	弥生人	予)弥生時代とは?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第9週	移動と定住	狩猟採集生活と稲作定住生活	予)生活のスタイルはどう違うか(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第10週	戦争と土地占有	戦争の起源と弥生時代	予)ヒトはなぜ戦争をするのか(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第11週	国占めと国見 -大王の土地占有-	『風土記』に見る土地占有説話	予)土地を占有するためには何をすればよいか(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第12週	無文字と口承 -カタリ文学-	口承文学と漢字の伝来	予)文字を使わずに言葉を伝達する方法は?(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第13週	国生み神話 -日本のはじまり-	『古事記』の国生み神話	予)どのような日本神話を知っているか(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第14週	古代の死生観① 黄泉国	日本人は「死」をどのように考えているか	予)「死」と「生」の違いは何か(2時間) 復)ノートの整理と確認(2時間)
第15週	平常試験		予)試験範囲の復習(3時間) 復)答案の検討(1時間)

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	卒業認定に関する方針との関連(学修成果)
期末試験		1-1 論理的思考 1-2 コミュニケーション・スキル 1-4 生涯学習力
筆記試験 レポート試験		
授業時間内 試験・演習	80	
授業時間外 レポート		
平常点	20	

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN108
1	科目名 英語科目名	社会と経済のしくみ Introduction to Sociology and Economics
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 2年前期 丹波勇氣*
3	授業テーマ・内容	我が国の社会は、市場(メカニズム)を介した経済、すなわち市場経済を前提として成立している。それ故に時として、経済変動が社会に影響を及ぼすこともあれば、その逆も有り得る。本講義の目的は、経済学的考察を用いて社会と経済の仕組みや両者の相互作用を学習することである。具体的な手段として、第一にマクロ経済学の基礎理論等を用いて、市場経済のメカニズムや政府が行う経済政策の意義を財サービス・金融・海外の3つの視点に分けて説明する。第二にそれらの結果として発生する経済変動が社会に与える影響を実際の事例(統計データやニュース記事)を用いながら考察していきたい。
4	学習成果	①社会・経済のニュースやそれに関わる政策を正しく理解できる。②様々な媒体で得た情報を鵜呑みにせず、自ら考察(分析)する力を身に付ける。
5	履修条件	TVニュースや新聞等を通じて、日ごろから経済や社会に関する報道(情報)に目を配っておくことが望ましい。 授業運用の関係で履修者数は1クラスにつき34名までとする。☆
6	備考	毎回小テストを行う。また、4回ほどレポート課題を提示する(感染対策としてどちらもオンライン提出を予定)。
7	テキスト・参考書	テキスト:教科書は使用しないが、毎回スライドの内容をまとめたプリントを配布する。 参考書:①伊藤元重(2012)『マクロ経済学』日本評論社。 ②吉川洋(2009)『マクロ経済学』岩波書店。 ③足立英之他訳(2014)『マンキュー入門経済学』東洋経済新報社
8	課題のフィードバック	提出されたレポートで得た履修者の意見や疑問を授業内容に反映させたい。

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	経済学とは何か	授業のイントロダクション	予)シラバスを熟読すること(約2時間) 復)コロナ禍が世界経済に与えた影響を調べる(約2時間)
第2週	経済学の重要概念	分業と交換、機会費用	予)高校講座「産業革命と社会問題」を見る(約2時間) 復)機会費用についてまとめる(約2時間)
第3週	経済学のゴール	所得分配 資源配分	予)我が国の所得格差について調べる(約2時間) 復)租税回避の問題点を分配面から考える(約2時間)
第4週	マクロ経済学の基礎用語	経済主体 市場メカニズム	予)日本の民営化事例を調べる(約2時間) 復)価格規制の問題点を考える(約2時間)
第5週	三面等価	三面等価 産業連関表	予)国民経済計算のHPを見る(約2時間) 復)テキストと現実の産業連関表を比較する(約2時間)
第6週	GDPと物価	物価指数	予)ジンバブエのハイパーインフレについて調べる(約2時間) 復)2つの物価指数についてまとめる(約2時間)
第7週	財政政策の意義(1)	有効需要の原理	予)セイ法則について調べる(約2時間) 復)45度線分析を図示できるように練習する(約2時間)
第8週	財政政策の意義(2)	乗数効果	予)ニューディール政策の内容について調べる(約2時間) 復)乗数の式を求められるように練習する(約2時間)
第9週	金融市場の基礎用語	フローとストック 資産	予)金融資産にはどんな種類があるか調べる(約2時間) 復)フローとストックの流れについてまとめる(約2時間)
第10週	債券市場	割引現在価値	予)株式と社債の違いについて調べる(約2時間) 復)割引現在価値の計算ができるまで練習をする(約2時間)
第11週	貨幣市場	貨幣の需要と供給	予)インドのキャッシュレス化について調べる(約2時間) 復)授業で示した「新しい貨幣理論」について調べる(約2時間)
第12週	金融政策の意義	ハイパワードマネー	予)広報ビデオ「くらしとつながる日本銀行」を視聴する(約2時間) 復)日本で行われている金融政策についてまとめる(約2時間)
第13週	為替レートの決定	購買力平価説 金利裁定	予)明後日の為替レートを予想してみる(約2時間) 復)為替レートの決定要因についてまとめる(約2時間)
第14週	国際収支表	経常収支 資本収支	予)80年代のジャパンバッシングについて調べる(約2時間) 復)テキストと現実の国際収支表を比較(約2時間)
第15週	総復習	今までの内容	予)今までの講義範囲を確認(約2時間) 復)参考書③の講義範囲を読む(約2時間)

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

評価方法	%	卒業認定に関する方針との関連(学修成果)
期末試験		3-1 課題発見・解決力、論理的思考
筆記試験		4-3 市民としての社会的責任
レポート試験		4-4 生涯学修力
授業時間内 試験・演習	40	
授業時間外 レポート	60	
平常点		

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN116
1	科目名 英語科目名	経営学 Business Administration
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 2年前期 鄭舜玉*
3	授業テーマ・内容	本講義では、企業とは何か、その目的や責任、人的資源管理など、企業経営の基礎的な概念、理論、視点はもちろん、企業経営を取り巻く環境と成長戦略について学び、企業が活動を安定的、継続的にやっていくためには、どのように組織をマネジメントしていくのかについて学んでいく。 また、社会人として企業という組織で働くことになった時に役立つ知識や実践手法にも触れる。
4	学習成果	企業システム、経営理論、人的資源管理、経営戦略、戦略的経営課題など、経営の基本的な概念が理解でき、経営の全体像や現象が理解できる。さらに、将来において自分の仕事が企業の中でどのように位置づけられているのかが理解でき、企業の効率的活動に貢献できる。
5	履修条件	予習・復習を心掛けて理解を深めること。
6	備考	第1週目の授業には、シラバスをプリントアウトして持参すること。 担当教員は企業・店舗経営の実務経験を持つ。
7	テキスト・参考書	テキスト:『経営学概論』篠原淳・後藤浩士著 学文社 参考書:『経営学検定テキスト 経営学の基本』中央経済社 その他、適宜、案内する。
8	課題のフィードバック	全体的な講評を行う。

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス	授業計画の概要、経営学とは	予)シラバスの確認、授業概要の把握(約2時間) 復)授業内容を整理してまとめる(約2時間)
第2週	企業システム① 組織・企業・会社の概念	組織・企業の定義、企業目的など	予)示された内容をテキスト等で予習しておく(約2時間) 復)学んだ授業内容を整理し復習しておく(約2時間)
第3週	企業システム② 企業の諸形態	合同・合資・合名会社、株式会社など	予)示された内容をテキスト等で予習しておく(約2時間) 復)学んだ授業内容を整理し復習しておく(約2時間)
第4週	企業システム③ 所有と経営の分離	株式の分散、専門経営者	予)示された内容をテキスト等で予習しておく(約2時間) 復)学んだ授業内容を整理し復習しておく(約2時間)
第5週	企業システム④ 会社機関と企業統治	取締役会、株主総会、監査役会等、コーポレート・ガバナンス	予)示された内容をテキスト等で予習しておく(約2時間) 復)学んだ授業内容を整理し復習しておく(約2時間)
第6週	経営理論① 生産性向上と管理法	科学的管理法、フォードシステム	予)示された内容をテキスト等で予習しておく(約2時間) 復)学んだ授業内容を整理し復習しておく(約2時間)
第7週	経営理論② 生産性向上と人間関係	ホーソン実験、XY理論	予)示された内容をテキスト等で予習しておく(約2時間) 復)学んだ授業内容を整理し復習しておく(約2時間)
第8週	経営理論③ 組織のデザイン	ラインとスタッフ、マトリックス組織	予)示された内容をテキスト等で予習しておく(約2時間) 復)学んだ授業内容を整理し復習しておく(約2時間)
第9週	中間テスト	第1週～第8週までの授業内容のテスト	予)テストのために、過去の授業内容を徹底的に勉強しておく(約4時間)
第10週	人的資源管理① リーダーシップ論	リーダーシップの定義、類型	予)示された内容をテキスト等で予習しておく(約2時間) 復)学んだ授業内容を整理し復習しておく(約2時間)
第11週	人的資源管理② モチベーション理論	モチベーション、二要因理論	予)示された内容をテキスト等で予習しておく(約2時間) 復)学んだ授業内容を整理し復習しておく(約2時間)
第12週	人的資源管理③ 人事評価	人事評価、職能給・職務給、インセンティブ	予)示された内容をテキスト等で予習しておく(約2時間) 復)学んだ授業内容を整理し復習しておく(約2時間)
第13週	経営戦略論① 市場環境と経営	SWOT、3C分析、PLC、PPM	予)示された内容をテキスト等で予習しておく(約2時間) 復)学んだ授業内容を整理し復習しておく(約2時間)
第14週	経営戦略論② 基本経営戦略	経営戦略の構成要素、成長戦略	予)示された内容をテキスト等で予習しておく(約2時間) 復)学んだ授業内容を整理し復習しておく(約2時間)
第15週	戦略的経営課題	CSR、コンプライアンス企業倫理等	予)示された内容をテキスト等で予習しておく(約2時間) 復)学んだ授業内容を整理し復習しておく(約2時間)
第16週	期末試験		

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連学修成果

評価方法	%	卒業認定に関する方針との関連学修成果
期末試験	70	3-1 課題発見・解決力、論理的思考 4-1 チームワーク、自己管理能力
授業時間内 試験・演習	20	
授業時間外 レポート 平常点	10	

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN110
1	科目名 英語科目名	くらしと法律 Law for Citizen
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択2単位) 2年後期 安井聖美*
3	授業テーマ・内容	我々の生活は様々な法律に囲まれ、場面毎で関係してくる法律とその適用に違いがある。 法律は市民としての生活に関する法律(私法)と、国民としての生活に関する法律(公法)に分れるが、私たちの日常のくらしは、私法に関する法律が関係してくることが多い。私法の基本法である民法を網羅的に学習することで、市民生活で法的な知識や経験がいかに大切かを学んでいく。特に法律行為の代表である契約については、契約の主体や意思表示の有効性、債務者の義務を論理的に学習する。家族法や企業法についても、高齢化やダイバーシティが進み、経済が高度化する社会で法律がどのように関与しているかについて学習する。 時事問題は法的な問題を含んでいることが多く、新聞等に掲載された時事問題を随時取り上げるので、日常生活において法律関係を自然と意識できるレベルになってもらいたい。
4	学習成果	受講生が日常生活には網の目のように法律関係がある事を理解し、民法についての最低限の網羅的な知識を習得し、法的思考を身に付ける。 <到達目標1>法律が暮らしにおいてどのような位置づけにあるか、理解できるようになる。 <到達目標2>民法における重要な知識・考え方を理解し必要な知識を身につける。 <到達目標3>タイムリーな話題について新聞を利用して解説し、法理が身近な部分に関与していることを知る。 <到達目標4>具体的な事象に対し、法的思考に基づいて、自分なりの結論を導く。
5	履修条件	講義に出席するだけでなく、講義の内容(演習問題)に対し、講師の質問にも積極的に答えられる態度でいること
6	備考	実務教員として、長年の法務・会計・税務上の経験に基づき、現代のビジネス実務を講義に毎回反映し、ビジネスについて際々に有用となる教養を伝授する。
7	テキスト・参考書	テキスト:「民法演習サブノート210問」沖野眞己 + 窪田充見 + 佐久間毅編著 弘文堂 参考書:「リーガルベイス 民法入門」道垣内弘人著 日本経済新聞出版社
8	課題のフィードバック	授業内に行う課題については、講義内でポイントを解説および講評を行う。

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	オリエンテーション/法の基本概念	我々を取り巻く法律についてどのような意味があるか理解する。	予)シラバスを読む。(予習/復習は毎回各2時間 計4時間ずつ行うこと) 復)法の強制力と機能について、講義で習ったことをまとめる。
第2週	民法総則①	民法の基本原則は何か、権利能力と法人の意義について確認する。	予)テキスト「民法演習サブノート」第1問から第10問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、民法の基本原則、権利能力、法人の意義を理解する。
第3週	民法総則②	法律行為と法律効果の関係について確認する。意思表示の重要性とその欠缺のケースを学ぶ。	予)テキスト「民法演習サブノート」第11問から第21問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、法律行為と意思表示の内容と関連性をまとめる。
第4週	民法総則③	代理の基本原則と諸問題(無権代理・表見代理)について学ぶ。	予)テキスト「民法演習サブノート」第22問から第35問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、実社会での様々な代理のケースを検討する。
第5週	物権①	物権とは何か。物権変動の公示と対抗要件について学ぶ。	予)テキスト「民法演習サブノート」第36問から第51問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、物権の意義と対抗要件の重要性をまとめる。
第6週	物権②	担保物権(意義、範囲、質権、低抵当権)について学ぶ。	予)テキスト「民法演習サブノート」第52問から第70問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、担保物権の様式の違についてまとめる。
第7週	債権総論①	債権・債務の基本的な内容と付随義務について確認し、履行されない場合の責任について学ぶ。	予)テキスト「民法演習サブノート」第71問から第84問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、債権債務の本質と付随義務についてまとめる。
第8週	債権総論②	債務が履行されないケースと履行の強制のための法的手段(保証)について学ぶ。	予)テキスト「民法演習サブノート」第85問から第107問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、債務不履行責任と保証についてまとめる。
第9週	契約①	契約に関する基本事項(成立要件)、同時履行の抗弁権について学ぶ。	予)テキスト「民法演習サブノート」第108問から第119問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、契約の成立要件と同時履行の抗弁権を整理する。
第10週	契約②	財産の譲渡と利用(贈与・貸借)と役員提供(請負)に関する契約について学ぶ。	予)テキスト「民法演習サブノート」第120問から第140問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、売買・贈与・貸借・委任・請負について整理する。
第11週	不法行為①	不法行為の内容と不法行為責任、事務管理と不当利得について学ぶ。	予)テキスト「民法演習サブノート」第141問から第150問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、不法行為責任と事務管理、不当利得についてまとめる。
第12週	不法行為②	不法行為による損害賠償責任の意義と範囲をまとめる。	予)テキスト「民法演習サブノート」第151問から第175問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、損害賠償に関する基本事項についてまとめる。
第13週	家族法①(親族)	身分法としての婚姻の性格を理解する。親子関係と扶養制度を学ぶ。	予)テキスト「民法演習サブノート」第176問から第194問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、婚姻関係と親子関係に関する基本事項をまとめる。
第14週	家族法②(相続)	法定相続の必要性、遺言と遺産分割について学ぶ。	予)テキスト「民法演習サブノート」第195問から第210問の問題を読む。 復)演習問題を復習し、相続に関する基本事項をまとめる。
第15週	まとめ/課題	講義で行った重要事項の理解を確認する。今後、講義で習った民法の基本事項をどのように利用するかをまとめる。	予)講義で学んだ重要キーワードと基本事項を理解し、法的思考を整理する。 復)演習全体を復習し、法的思考による法的結論を身に付ける。

成績評価の方法

評価方法	%
期末試験	70
筆記試験 レポート試験	
授業時間内 試験・演習	10
授業時間外 レポート	10
平常点	10

卒業認定に関する方針との関連(学修成果)

- 4-2 倫理観
- 4-3 市民としての社会的責任
- 4-4 生涯学修力

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-GEN111
1	科目名 英語科目名	地球環境論 Natural Environmental Science
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択 2 単位) 2年前期 村田安繁*
3	授業テーマ・内容	<p>人類は地球環境に支えられて生存している。しかし、人間活動は環境に影響を与え、時として人類の生存を脅かすように環境を悪化させた負の歴史がある一方、それを回復させた歴史もある。このような歴史を通して得た知識や技術は現在及び未来の人類が健康で文化的な生活を営むのに不可欠な人類の英知である。この英知を受継ぎ、環境・社会・経済のバランスの取れた産業技術により持続可能な発展を目指すことが本講座のテーマである。</p> <p>環境やそれにかかわる諸問題に気づき、関心を持つとともに、現在の問題の解決と、新しい問題の未然防止に向けて、個人的、集団的に活動する上で必要な知識、技能、態度、意欲、実行力を身につけることをねらいとする(1975年 ベオグラード憲章より引用)。このねらいに対し、技術者として自分の行うべきことの認識を持つことを目標とする。</p> <p>この目標の為に環境に関するレポート1題(A4 2 頁以上で、独自性、内容、ボリューム、完成度にて評価)、一部の授業内容についての意見メモの提出を求める。 講義中の私語を厳禁とする(疑問点等は挙手して質問すること)。</p>
4	学習成果	<p>現在注目されている環境問題について理解できる。</p> <p>環境に関して対立する意見について知ることができる。</p> <p>公害を含む環境に悪影響を与えた事件の原因や対策について理解できる。</p>
5	履修条件	なし
6	備考	担当教員に製造業(電気機械)の実務経験あり
7	テキスト・参考書	<p>テキスト:新訂 地球環境の教科書 10講 東京書籍刊 九里・左巻・平山 編著</p> <p>参考書:改訂新版 地球環境がわかる 技術評論社 西岡・宮崎・村野</p>
8	課題のフィードバック	レポート及び意見メモに対してフィードバックします。

各週の授業内容

週	単元	内容	予習/復習
第1週	ガイダンス 環境教育の目指すもの	地球環境論を学ぶ意義	予)「地球環境」を検索して調べる 1時間 復)環境教育の目的と意義の確認 1時間
第2週	地球環境問題、何がどう問題?	直面する問題と未来の懸念	予)配付資料を読み考える 1時間 復)問題の種類、内容、原因の確認 1時間
第3週	公害と環境汚染1	公害の歴史	予)配付資料を読み考える 2時間 復)主要な公害についての確認 2時間
第4週	公害と環境汚染2	公害と環境汚染の今 公害防止技術	予)教科書の該当部を読み考える 2時間 復)主要な問題と対策の確認 2時間
第5週	地球温暖化の科学と政治1	地球温暖化の問題	予)教科書の該当部を読み考える 2時間 復)温暖化の原因と影響の確認 2時間
第6週	地球温暖化の科学と政治2	地球温暖化への取り組み	予)教科書の該当部を読み考える 2時間 復)温暖化対策の歴史と内容の確認 2時間
第7週	酸性化する大気と海洋	酸性雨、PM2.5、海洋酸性化	予)教科書の該当部を読み考える 2時間 復)酸性化の原因と影響の確認 2時間
第8週	石油は40年でなくなるのか?1	化石燃料と脱化石燃料1	予)教科書の該当部を読み考える 2時間 復)化石燃料と原子力技術の確認 2時間
第9週	石油は40年でなくなるのか?2	脱化石燃料2	予)教科書の該当部を読み考える 2時間 復)原子力・太陽エネルギーの確認 2時間
第10週	オゾン層破壊がもたらすこと	オゾン層破壊と対策	予)教科書の該当部を読み考える 2時間 復)破壊の原因、影響、対策の確認 2時間
第11週	生態系の危機	生態系の破壊と保護、生物多様性	予)教科書の該当部を読み考える 2時間 復)生態系、生物多様性の確認 2時間
第12週	あふれるごみ	ごみ問題とリサイクル	予)教科書の該当部を読み考える 2時間 復)内外のごみ問題と対策の確認 2時間
第13週	水の危機の時代	水問題と対策	予)教科書の該当部を読み考える 2時間 復)水問題の原因と取組の確認 2時間
第14週	企業と環境経営	企業の社会的責任、ISO14001、 ESGとSDGs	予)教科書の該当部を読み考える 2時間 復)環境経営とメリットの確認 2時間
第15週	まとめ	1~14週の内容確認と補足、 資料・ノート確認、アンケート	予)教科書確認、資料・ノート整理 2時間 復)講義全般の見直し、試験準備 6時間
第16週	期末試験	1~15週の内容の理解度をみる	予)試験準備 0時間 復)間違いを調べて修正(提出) 2時間

成績評価の方法

卒業認定に関する方針との関連学修成果

評価方法	%	卒業認定に関する方針との関連学修成果
期末試験	50	1-2 工学基礎 4-2 倫理観 4-3 市民としての社会的責任
授業時間内 試験・演習	20	
授業時間外 レポート	20	
平常点	10	